(C)十勝毎日新聞社

本別町長選

高橋氏５選果たす

新人・大住氏に1518差

【本別】任期満了に伴う本別町長選は24日、投票が行われ、即日開票の結果、現職の高橋正夫氏（62）＝無所属、４期＝が３４９０票を獲得し、新人の前町議大住啓一氏（60）＝無所属＝を１５１８票差で破って５選を果たした。

（２、15面に関連記事）

高橋氏は、協働のまちづくりや福祉の充実、十勝町村会長としての働きなど４期16年の実績を前面に選挙戦を展開。「（進行中の）企業誘致が花開く大事な４年間になる」と町政継続を訴えた。連合や建設業協会、町職員組合など主要団体・組織の推薦を得て、幅広い層の支持を集めた。

動画あり
かちモバまたは勝毎電子版で

大住氏は町議時代の後援会を核に草の根選挙を行った。ＪＡや森林組合の幹部も応援して農村部で健闘したが、知名度と公約の浸透に時間がかかり、「町政に新しい風を」との訴えも届かなかった。

16年ぶりとなった選挙戦の投票率は82・94％で、前回（90・1％）から７・16ポイント下回った。投票総数は５498票、無効36票。高橋氏の得票率は63・9％だった。（町長選取材班）

本別町長選開票結果

当3490	高橋 正夫	(62)	無現
1972	大住 啓一	(60)	無新

有権者数	6,629人	投票率	82.94%
投票総数	5,498票	無効	36票

万歳三唱で５選を喜ぶ高橋氏（左）。右は照子夫人（24日午後９時半ごろ）

掲載日:2013年08月25日，面名:号外１，記事ID:KIJ20130825_G000100010C253001

(C)十勝毎日新聞社

本別町長に高橋氏5選

新人・大住氏に1518票差

万歳三唱で５選を喜ぶ高橋氏（左）。右は照子夫人（24日午後９時半ごろ）

開票結果（確定）

当3490 高橋 正夫(62)

1972 大住 啓一(60)

【本別】任期満了に伴う本別町長選は24日、投票が行われ、即日開票の結果、現職の高橋正夫氏（62）＝無所属、4期＝が3490票を獲得し、新人の前町議大住啓一氏（60）＝無所属＝を1518票差で破って5選を果たした。

高橋氏は、協働のまちづくりや福祉の充実、十勝町村会長としての働きなど4期16年の実績を前面に選挙戦を展開。「（進行中の）企業誘致が花開く大事な4年間になる」と町政継続を訴えた。連合や建設業協会、町職員組合など主要団体・組織の推薦を得て、幅広い層の支持を集めた。

大住氏は町議時代の後援会を核に草の根選挙を行った。JAや森林組合の幹部も応援して農村部で健闘したが、知名度と公約の浸透に時間がかかり、「町政に新しい風を」との訴えも届かなかった。

16年ぶりとなった選挙戦の投票率は82・94％で、前回（90・1％）から7・16ポイント下回った。投票総数は5498票、無効36票。高橋氏の得票率は63・9％だった。（町長選取材班）

高橋氏「協働進め、未来に全力」

「やったぞ」「勝った」―。高橋氏の選挙事務所（町山手町）に午後9時すぎ、当選確実の一報が流れると、詰め掛けた支持者から拍手と歓声が一気に沸き起こった。

熱気に包まれた会場に高橋氏と照子夫人が到着。支持者と喜びの握手を交わした後、両手を高く上げて歓声に応えた。

森岡嗣選対本部長は「本別はもとより全道、全国のために活躍してほしい」と激励。荒木譲作副本部長の掛け声で万歳三唱し、必勝だるまに大きく「V」の字を書き込んだ。

高橋氏は「これからの政策が町民の願う正しい方向に向くかどうかは4年間の私にかかっている。協働のまちづくりを進め、本別の未来のために力いっぱい頑張る」と力強く決意を述べた。笠原求幹事長代行の発声で牛乳で乾杯し、勝利を祝った。

大住氏「今後も本別のために」

大住氏の支持者が集まった町北5の飲食店では午後9時5分すぎ、OCTVの放送で落選が分かると、約70人の支持者から落胆のため息が漏れた。

同9時15分すぎ、大住氏は明美夫人を伴い会場入り。約10分にわたりじっとテレビを見詰めた。大住氏は「私の不徳の致すところで、力不足は否めなかった。これからの本別のためにやることはまだある」と敗戦の弁を述べた。佐野政利選対本部長は「大善戦した。町民主役のまちづくりがみんなの総意だと確信した」と話した。大住氏は出口で一人ひとりと握手した。

敗戦の弁を述べる大住氏（24日午後9時半すぎ）

たかはし・まさお　1951年、本別町生まれ。本別高卒。69年、旧国鉄入社。82年、町議選初当選、副議長を経て97年町長選で初当選。2009年から十勝町村会長。

解説　実績と経験で「継続」選択

4期16年にわたる高橋町政の継続か刷新かが焦点となった町長選。町民は「実績と経験」の現職を選び、町史上最長を更新する5期目のかじ取りを託した。

高橋氏は多選批判と身内の楽観ムードの払拭に苦心したが、協働と福祉のまちづくり、財政健全化といった町政運営への評価に加え、十勝町村会長などの公職を務める知名度でリード。この1年の企業誘致と起業支援の成果は、公約とした雇用確保に期待感を抱かせた。後援会は世代交代を図って体制を強化、主要団体や議員の支持も取り付けて安定した選挙戦を展開した。

大住氏は住む人が主役のまちづくりを掲げ、農村部を足掛かりに一定の支持を広げた。ただ町政刷新を進める新鮮な印象を十分に与えられず、大型老人ホームの新設以外に有権者を引きつける対立軸を打ち出せなかったことで、現職への不満層をまとめ切れなかった。

高橋氏の掲げた「地域資源を生かす産業振興」には、相手候補を支持した農林業のリーダーとの対話を含めたオール本別の取り組みが不可欠だ。人口減少や景気雇用対策といった懸案と、道東道釧路延伸という好機がある中、真価を問われる4年間になる。（安田義教）

十勝毎日新聞

発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

選挙号外

十勝毎日新聞
未購読の方
7日間無料
お試しできます
お申し込みはお電話で
フリーダイヤル 0120-25-3999 ニッコリ サンキュー
またはWEBで
とかち.シーオー.ジェイピー／はんばい
www.tokachi.co.jp/hanbai/
いつでもどこでも最新の「勝毎」
勝毎 電子版
tachimai.jp